

2016年度 化学工学会インターンシップ報告会

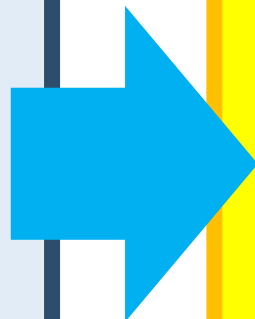
氏名	岡田 翔平		
大学	早稲田大学 大学院	所属	先進理工学研究科 応用化学専攻 野田研究室
研修先企業名	三菱化学 株式会社	研修先部署	-
研修場所	鹿島事業所		
研修テーマ	化学プラントにおける運転適性化によるコスト削減検討		
研修期間	2016年8月18日～9月7日 （20日間）		

応募経緯・参加目的

【応募経緯】



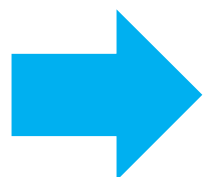
- ・ 化学工学が企業で使われている実感が湧かない。
- ・ 自分が培ってきた知識や考え方が企業で通用するのか？
- ・ 研究に対する新たなアプローチ（考え方）を得たい。



【参加目的】



- ・ 生産技術職で働くイメージを掴む。
- ・ 仕事を体験して現状の自分に足りないものを探す。
- ・ 自身の研究（大量生産に向けた技術開発）に近いテーマを体験して研究に活かす。

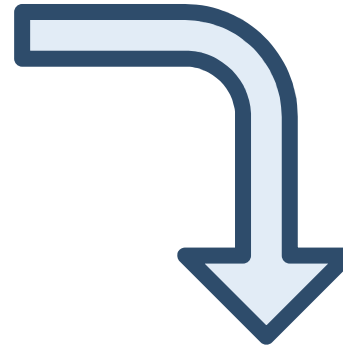


三菱化学株式会社 様

**テーマ：化学プラントにおける運転-
適性化によるコスト削減検討**

研修概要

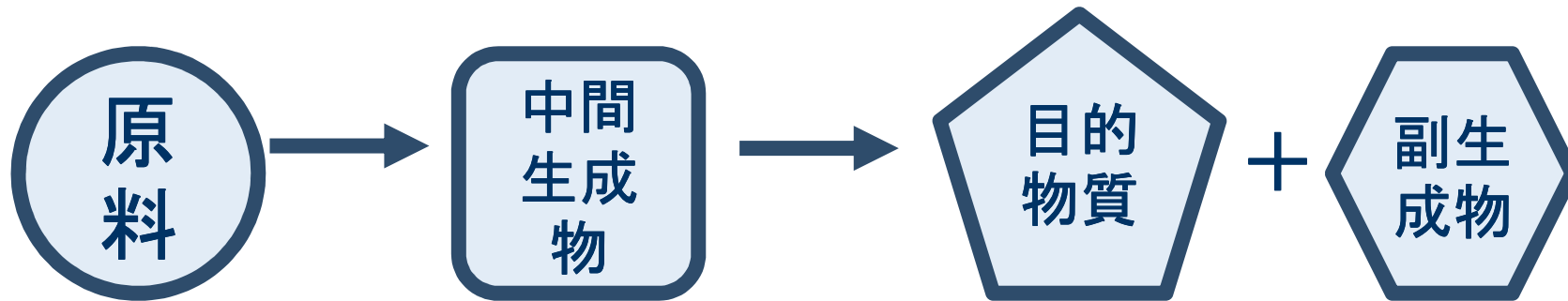
- 安全教育
- 事業所全体見学
- 実習先見学（ほぼ毎日）
- **実習（テーマ検討）**
- 用役課見学
- 成果報告会



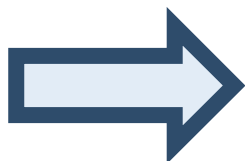
研修テーマ：
基礎化学品プラントでの目的物質精製工程で
用いる触媒に関して、触媒交換の適正化
→コスト削減へ

実習内容

【ある基礎化学品の生産工程】



- 副生成成分と目的物質が蒸留で分離され辛い。
➡ 副生成成分を触媒塔で反応させ蒸留で分離。
- ある反応領域の改造に伴い、上記触媒反応の挙動が変化。
- 何を指標に・どんな頻度で、触媒交換すべきか調査。



触媒寿命に影響を与える因子を特定し、改造以降の適切な交換インターバルを算出した。

研修を通して得たもの

“絶対に”

事故を起こさない・
繰り返さない
ための徹底した行動。

強い
安全意識

一人で仕事は進まない。
色々な立場の方が居て、
見方も考え方も様々。

コミュニ
ケーション
の重要性

合理的な
統計処理

研究室の実験では考え
られない膨大なデータ
の処理。

厳密な
スケジュール
管理

細かく業務を明確化し、
効率的に進める必要。
逐次報告し軌道修正。

所感

- 生産技術職として働くイメージを掴めた。
- その上で、自分に向いていると感じた。
- 仕事を覚えていく上では、なるべく多くコミュニケーションをとることが大切。
- スケールの違いに圧倒。
- 統計処理はかなり有用。
(今の研究でも使っています！)

インターンシップを考えている方へ

➤ 迷っている方は是非インターンシップへ！

- 社員の方が検討するようなテーマを一ついただくことで、実際に仕事を体験できる。
- 生産技術職は体験しないと、まず理解らない。
- 寮生活も含めて社会人生活の体験ができる。

謝辞

インターンシップという貴重な体験をご提供下さいました三菱化学株式会社の皆様に心より御礼申し上げます。

私にとって有益で楽しい体験でした。

誠にありがとうございました。

早稲田大学修士一年 岡田翔平